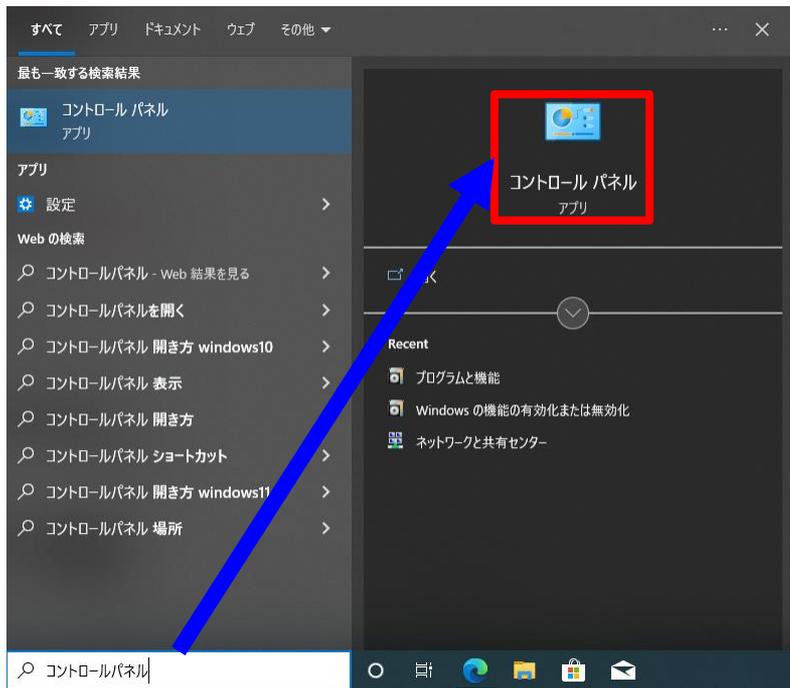
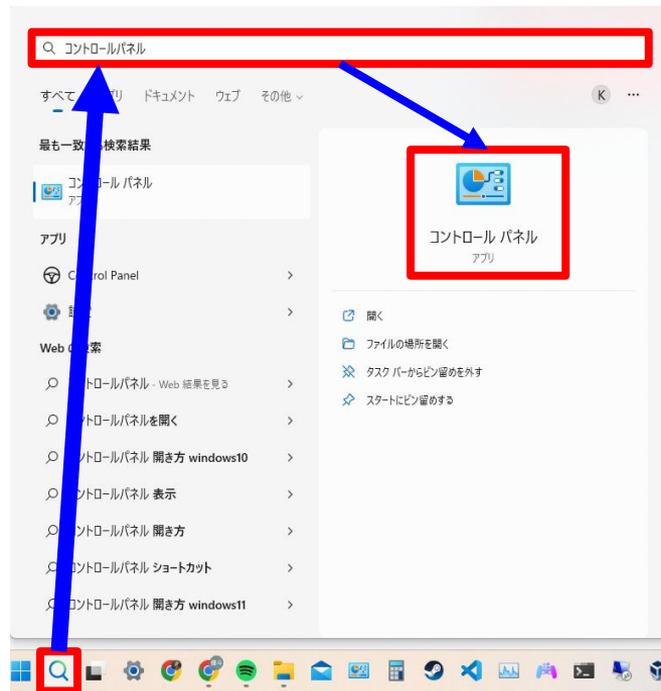


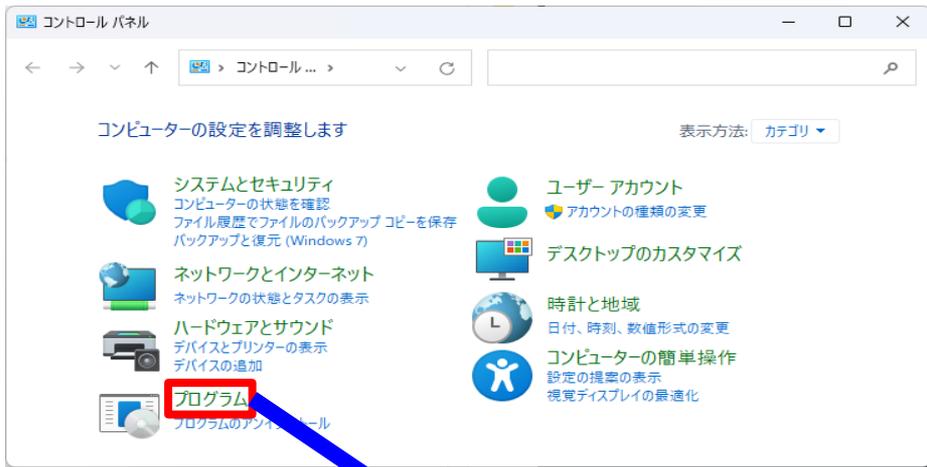
画面の下部の検索ボックスに「コントロールパネル」と入力し、検索結果のコントロールパネルをクリックする

windows10



windows11



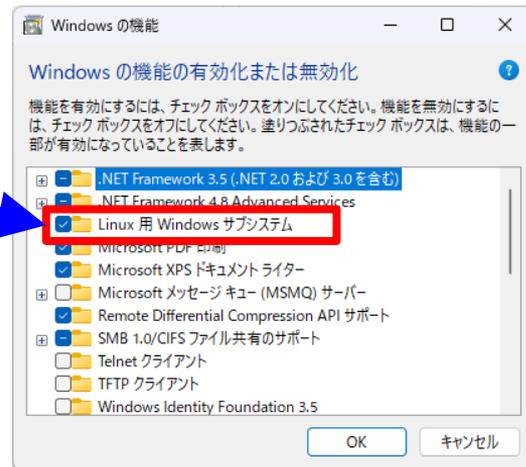
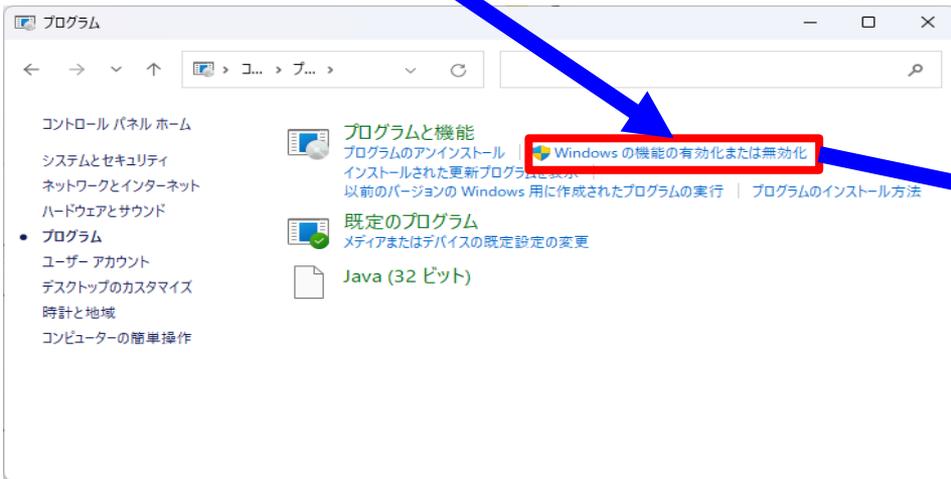


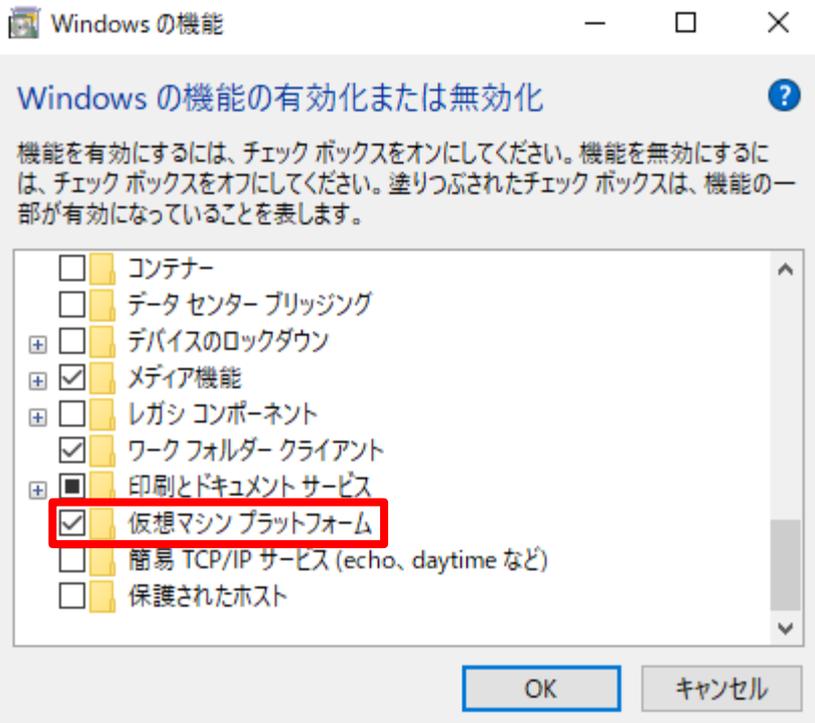
コントロールパネルから「プログラム」をクリックし、次の画面で

「Windowsの機能の有効化または無効化」をクリックすると下図のようなウィンドウが表示されるので、項目から

「Linux用Windowsサブシステム（もしくはWindows Subsystem for Linux）」のチェックボックスをオンにする

変更が完了すると再起動を促されるので再起動する





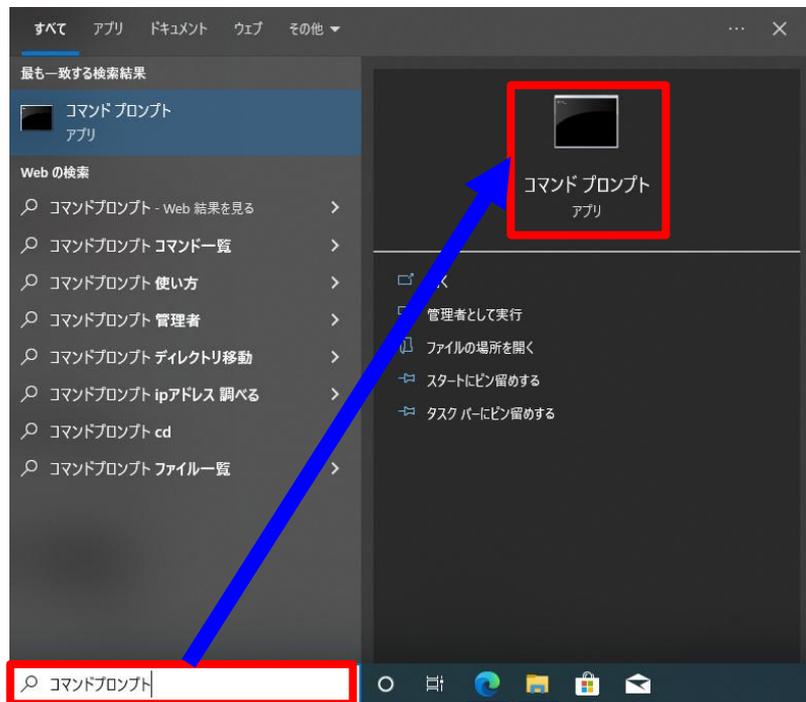
前スライドの操作を行ったウィンドウに再度アクセスし、ある項目を下へスクロールしていき「**仮想マシンのプラットフォーム**」のチェックボックスをオンにし「**OK**」をクリックする

変更が完了すると再起動を促されるので再起動する

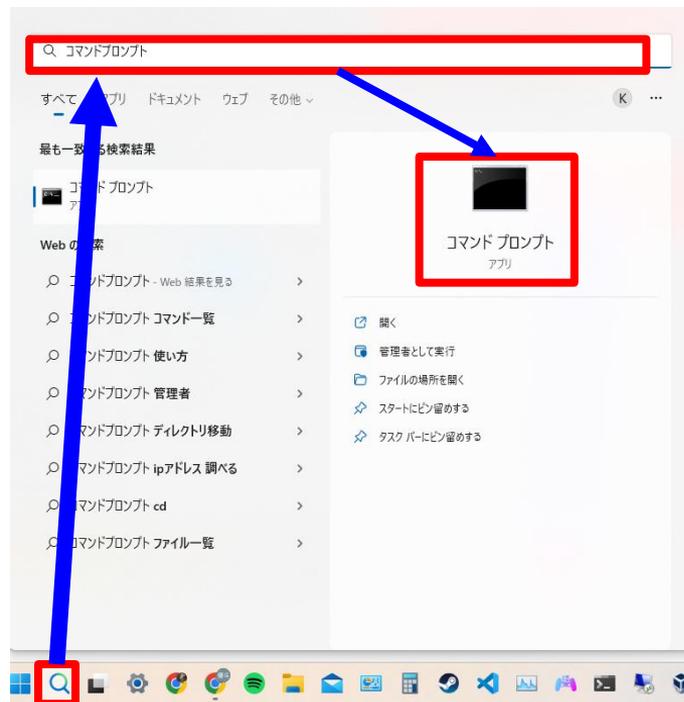
画面の下部の検索ボックスに「コマンドプロンプト」と入力し、検索結果のコマンドプロンプトをクリックする

※コマンドプロンプトの下にある「タスクバーにピン留めする」を選択するとタスクバーからコマンドプロンプトのアイコンを選択して起動できる

windows10



windows11



コマンドプロンプト

```
Microsoft Windows [Version 10.0.19045.2130]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\yakashi> wsl --set-default-version 2
WSL 2 との主な違いについては、https://aka.ms/wsl2 を参照してください
この操作を正しく終了しました。

C:\Users\yakashi>
```

起動したコマンドプロンプト上
で

「**wsl --set-default-version 2**」
と入力してEnterキーを押す

これによりWSLではなく、
WSL2として起動することができ
る


```
Installing, this may take a few minutes...
Please create a default UNIX user account. T
For more information visit: https://aka.ms/w
Enter new UNIX username: g197314
New password:
Retype new password:
```

学生IDを入力

しばらく待つと「**Enter new UNIX username:**」と表示されるのでユーザー名を設定してEnterキーを押す（今回のインストールではユーザー名に学生IDを入力する）その後、「**New password:**」と表示されるのでパスワードを設定してEnterキーを押すと「**Retype new password:**」と表示されるので設定したパスワードをもう一度入力してEnterキーを押す

※学生IDとは「**g(学籍番号)**」, 「**k(学籍番号)**」, 「**j(学籍番号)**」といった小文字アルファベットと学籍番号からなるもののこと
パスワードは**記号を含む英数字8文字以上**からなるものを推奨する
入力したパスワードは画面に表示されないので注意

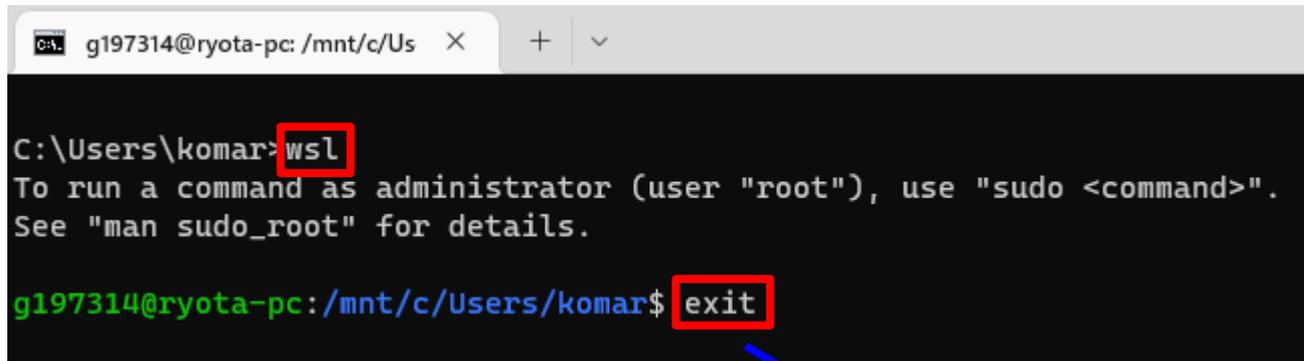
```
g197314@ryota-pc:~$
```

前スライドの操作が終わったら、
いくつかメッセージが表示される
最後に右図のように

「(ユーザー名)@(マシン名):~\$」
と表示されたらインストール完了なので
ウィンドウを閉じる

・ 起動方法

コマンドプロンプト上で「**wsl**」と入力してEnterキーを押すと起動できる



```
C:\Users\komar> wsl
To run a command as administrator (user "root"), use "sudo <command>".
See "man sudo_root" for details.

g197314@ryota-pc:/mnt/c/Users/komar$ exit
```

・ 終了方法

「**exit**」と入力してEnterキーを押すと終了できる



```
コマンド プロンプト
C:\Users\komar>
```

・アップデート

Ubuntuを起動して「**sudo apt -y update**」と入力してEnterキーを押すとパスワードを要求してくるのでインストール時に決めたパスワードを入力してEnterキーを押す（この時入力したパスワードは表示されないので注意）

終了したら続いて「**sudo apt -y upgrade**」と入力し、Enterキーを押して実行する
実行が終了したらアップデート完了

（画像は「**sudo apt -y update**」終了時のもの）

```
Get:38 http://security.ubuntu.com/ubuntu focal-security/restricted Trans
Get:39 http://security.ubuntu.com/ubuntu focal-security/restricted amd64
Get:40 http://security.ubuntu.com/ubuntu focal-security/universe amd64 Pa
Get:41 http://security.ubuntu.com/ubuntu focal-security/universe Translat
Get:42 http://security.ubuntu.com/ubuntu focal-security/universe amd64 c-
Get:43 http://security.ubuntu.com/ubuntu focal-security/multiverse amd64
Get:44 http://security.ubuntu.com/ubuntu focal-security/multiverse Transl
Get:45 http://security.ubuntu.com/ubuntu focal-security/multiverse amd64
Fetched 26.2 MB in 19s (1401 kB/s)
Reading package lists... Done
Building dependency tree
Reading state information... Done
291 packages can be upgraded. Run 'apt list --upgradable' to see them.
g197314@ryota-pc:/mnt/c/Users/komar$ sudo apt -y upgrade
```

・ デスクトップなどにあるファイルを扱う場合__1

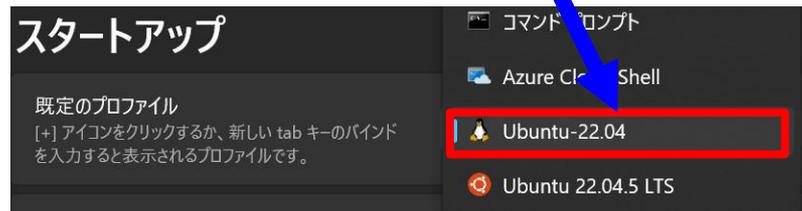
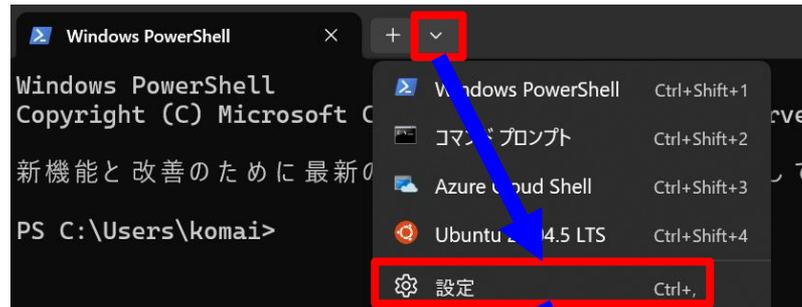
検索ターミナルに「windowsターミナル」と入力し起動する

インストールされていない場合は以下のリンクからインストールできる

[windowsターミナルのインストール](#)

既定のプロファイルを
ペンギンマークの「Ubuntu」に設定する。

以上により、エクスプローラーから
任意のディレクトリをUbuntuで開くことができる。



・デスクトップなどにあるファイルを扱う場合_2

「**cd /mnt/c/Users/**」と入力し、実行した後、「**ls -l**」と入力して実行する
出力されたものから自分のWindowsのユーザー名を探し、

「**cd [ユーザー名 (右図ではkomar)]**」と入力して実行する

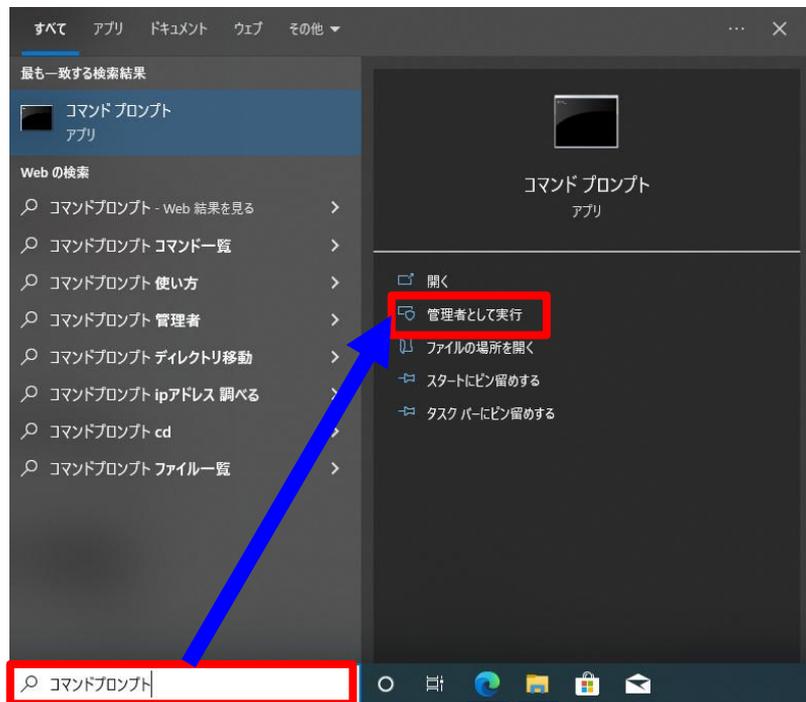
その後、「**ls -ld */**」と入力して実行すると右図の赤枠のようなものが出力される
この中にある「**Desktop**」などが**エクスプローラー内の「デスクトップ」と一致する**ので、**cd**コマンドを用いてファイルのある場所に移ることで扱うことができる

```
g197314@ryota-pc:/mnt/c/Users/komar$ cd /mnt/c/Users/
g197314@ryota-pc:/mnt/c/Users$ ls -l
total 0
lrwxrwxrwx 1 root root 18 Jun 5 2021 'All Users' -> /mnt/c/ProgramData
dr-xr-xr-x 1 root root 4096 May 6 14:12 Default
lrwxrwxrwx 1 root root 20 Jun 5 2021 'Default User' -> /mnt/c/Users/Default
drwxrwxrwx 1 root root 4096 Aug 6 16:00 Public
-r-xr-xr-x 1 root root 174 Jun 5 2021 desktop.ini
drwxrwxrwx 1 root root 4096 Oct 18 00:19 komar
g197314@ryota-pc:/mnt/c/Users$ cd komar
g197314@ryota-pc:/mnt/c/Users/komar$ ls -ld */
drwxrwxrwx 1 root root 4096 Apr 28 18:48 .no_object/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 May 5 00:15 AppData
drwxrwxrwx 1 root root 4096 Sep 23 11:37 Application Data/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 May 6 14:12 Contacts/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 May 8 13:58 Cookies/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 Oct 18 00:19 Creative Cloud Files/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 Apr 28 18:50 Documents/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 Sep 23 11:37 Downloads/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 May 6 14:12 Favorites/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 Apr 28 19:05 Intel/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 May 6 14:12 Links/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 Oct 18 00:30 Local Settings/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 May 6 14:12 Music/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 Apr 28 18:50 My Documents/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 Jun 5 2021 NetWork
drwxrwxrwx 1 root root 4096 Oct 18 00:19 OneDrive/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 Jun 5 2021 PrintHead/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 Oct 18 00:35 Recent/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 May 6 14:12 Saved Games/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 May 6 14:12 Searches/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 May 6 14:14 SendTo/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 Jun 5 2021 Templates/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 Oct 18 00:19 Videos/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 Apr 28 19:24 work/
drwxrwxrwx 1 root root 4096 Jun 19 18:34 work -> /mnt/c/ProgramData
g197314@ryota-pc:/mnt/c/Users/komar$
```

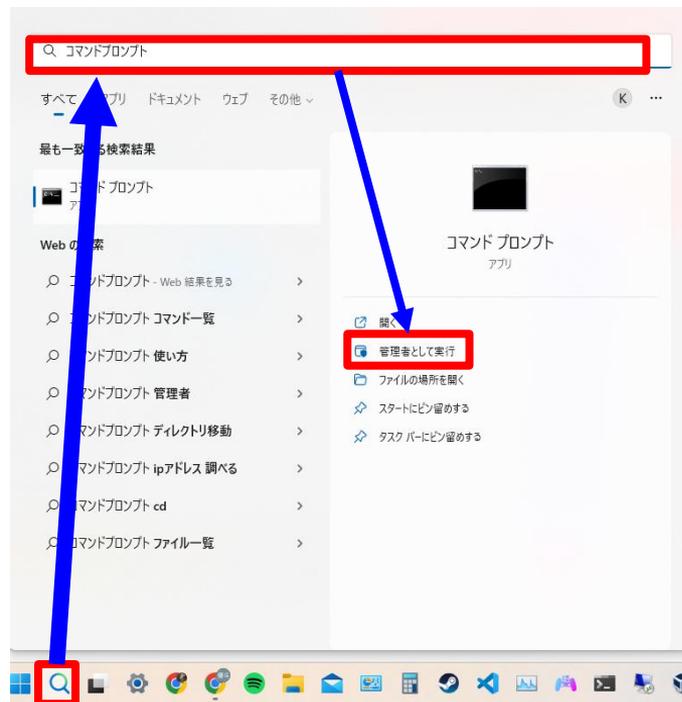
このページ以降はWSLが起動しないときのみ行
う

- ・ WSLのアップデート（wslが起動しないとき）
コマンドプロンプトを検索し、「管理者として実行」をクリックする

windows10



windows11



コマンドプロンプト上で「**wsl --update**」と入力しEnterキーを押す
実行が終了したらコマンドプロンプトを閉じる

管理: コマンドプロンプト

```
Microsoft Windows [Version 10.0.19045.2130]
(c) Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Windows\system32>wsl --update
更新をチェック中...
更新をダウンロード中...
更新をインストール中...
この変更は、次回の WSL 再起動時に有効になります。強制的に再起動するには、'wsl --shutdown' を実行してください。
カーネル バージョン: 5.10.102.1

C:\Windows\system32>
```

再度コマンドプロンプト（「管理者として実行」ではない）を開き， p6からの作業を行ってください

→ p6

- ・ WSL2のアンインストール

コマンドプロンプトを開き, 「**wsl --unregister Ubuntu**」 と入力しEnterキーを押す

→ **WSLのインストールを行う**